

The logo is a shield-shaped emblem with a white outline. Inside the shield, the text "ITmedia" is at the top, "Security Week" is in the center in a large, bold font, and "2022 Winter" is at the bottom. The shield is set against a dark blue background.

ITmedia
Security Week
2022
Winter

Ver.1.0

Produce by

ITmedia
ITセキュリティ

ITmedia
ITセキュリティ

@ I T
a t m a r k I T

Security Week

開催概要

会期名称

ITmedia Security Week 2022冬

主催



開催日時

2022年11月28日(月)～12月6日(火)予定

申込締切

2022年9月9日(金)

イベント形式

集合型オンラインセミナー

視聴方法

無料登録制

事前申込者数

約800名想定

想定視聴者属性

経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

告知/集客

ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ、@ITを中心とした当社媒体

運営

アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

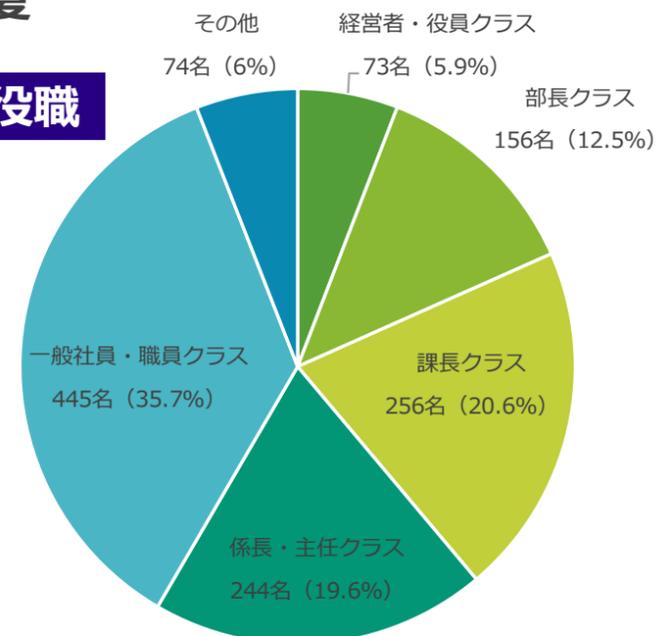
過去開催実績

ITmedia Security Week 2022夏

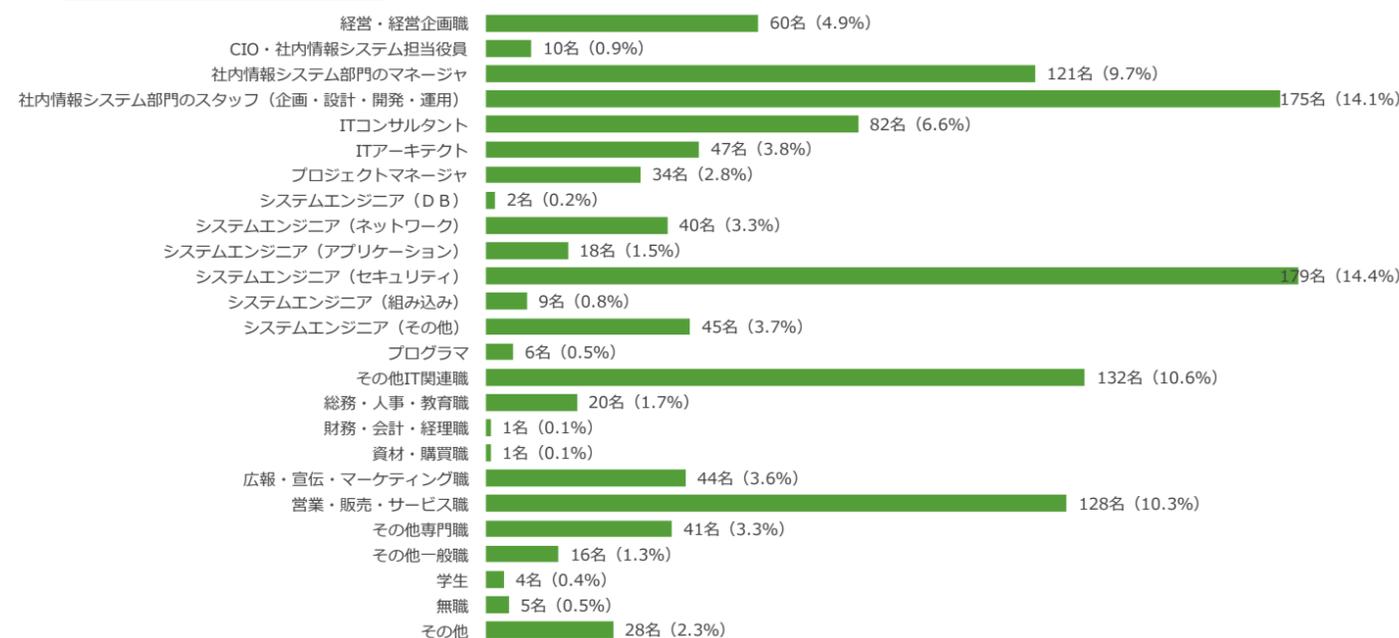
▼開催期間
2022年6月6日(月)
～ 6月13日(月)

▼申込者数
1248名

申込み者役職



来場者職種



あれから二年半。その対策、本当に有効ですか？ サイバーセキュリティ対策をアップデートする

Section1

サイバー危機対応事例に学ぶ
「自分事」として取り組むサイバーセキュリティ対策

エグゼクティブゾーンでは、国内外の企業で実際に起きたサイバー危機対応事例で浮き彫りになった課題を取り上げ、経営者やリーダーたちがセキュリティ対策を自分事として捉え、いかに取り組めばいいのか議論します。

Section2

サプライチェーン攻撃だけじゃない、新たな脅威

サプライチェーン攻撃が当たり前となった現状を基に、あらゆる業種、あらゆる規模の組織が、新しい考え方や製品だけでなく基礎力を高めるための振り返りも含め、組織、サプライチェーン全体を安全にする勘所を学ぶ。

Section3

クラウド&ゼロトラスト

本ゾーンでは、クラウド、そしてゼロトラストの分野におけるセキュリティを過不足なく実践するために必要な知見を手に入れ、在りたい姿に近づける手助けをします。

Section4

エンドポイント対策&情報管理

組織を守るには、サイバー犯罪者にとって組織内への入り口となるエンドポイントの防御手法を知ること、ゴールである情報を定義し守ることが重要です。そのためにもまず攻撃の初手を「検知」する方法を考えましょう。

Section5

ランサムウェア

高度化するランサムウェア攻撃は今や、事業継続を脅かす深刻なリスクです。「自社には関係ない」と意識を捨てていつ被害に遭っても問題ないように対策を講じましょう。本ゾーンはそれに役立つ情報をお伝えします。

Section1 サイバー危機対応事例に学ぶ 「自分事」として取り組むサイバーセキュリティ対策

新型コロナの世界的な感染拡大と長期化する国際紛争は、ビジネスを取り巻く環境を一変させてしまいました。これまで経験したことのない不安定さが新たな常態となる中、企業を狙ったサイバー攻撃は増加の一途をたどり、もはやサイバーセキュリティが経営に大きなインパクトをもたらすリスクの1つであることは明らかです。

サイバーセキュリティ対策は事業継続のために欠かせない投資ですが、ベストプラクティスがあるわけでもなく、企業としては手探りで実施しなければならず、事前に十分な準備をすることもできません。多くの企業では、実際に起こっているサイバー攻撃すら可視化できておらず、最悪の事態を想定することも難しいのが実態でしょう。まずは、経営者や部門のリーダーたちがアンテナを高くし、「自分事」として取り組むことが第一歩となるでしょう。

エグゼクティブゾーンでは、国内外の企業で実際に起きたサイバー危機対応事例で浮き彫りになった課題を取り上げ、経営者や部門のリーダーたちがサイバーセキュリティ対策を自分事として捉え、どのように取り組んでいけばいいのか、議論していきます。

Section2

サプライチェーン攻撃だけじゃない、新たな脅威

コロナ禍を経て、私たちのビジネスの“弱い部分”が明確に狙われるようになりました。“サプライチェーンを狙う攻撃”は製造業をイメージするものだけではなく、企業と企業が協業しビジネスを行う、すべての業種における課題です。いまではむしろ中小規模の企業に狙いが定められ、その規模の企業であれば総合的なセキュリティ力の向上を、それを束ねる大企業はサプライチェーン全体を守るためガバナンスを効かせなければなりません。これは果たして“他人事”なのでしょうか。本ゾーンではサプライチェーン攻撃が当たり前のように行われる現状を基に、あらゆる業種、あらゆる規模の組織が“自分事”として捉えられるよう、新しい考え方やソリューションだけでなく、基礎力を高めるための振り返りも含め、組織、サプライチェーン全体、そして世界を安全にするためのポイントを学びます。

— Key word —

情報漏えい全般
マルウェア検知ソリューション全般（次世代アンチウイルス含む）
XDRなどxDR（ディテクション&レスポンス）系全般
セキュリティ診断系全般
レッドチーム演習
EDR (Endpoint Detection and Response)
EMM (Enterprise Mobility Management)
IDaaS (Identity as a Service)

IRM(Information Rights Management)
SASE (Secure Access Service Edge)
SWG (Secure Web Gateway)
SOAR (Security Orchestration, Automation and Response)
UEBA (User and Entity Behavior Analytics)
SIEM (Security Information and Event Management)
BYOD
RBI (Remote Browser Isolation)

— 視聴者の抱える想定課題 —

サプライチェーン攻撃など新たな脅威が話題となり、どこから手を付けていいのかわからない組織のセキュリティ担当者。「大企業が取引先に何を提供すればいいのか、どこまでやればいいのか」を情報収集しているセキュリティ責任者。取引先から実施しているサプライチェーン攻撃対策レポートを要求されている中小規模の企業。

Section3

クラウド&ゼロトラスト

クラウド活用、ゼロトラストの概念導入はもはや当たり前前の時代に突入しました。これらのサービスや概念の導入は進んでいても、「なにかが抜けている」と不安に感じることもあるかもしれません。検討から“実践”に移行し、理想とする姿への過渡期であるいまこそが、サイバー攻撃者にとって最も狙いやすい時期でもあります。だからこそ、もう一度セキュリティのいまを把握しておく必要があります。本ゾーンでは、XDRやIDaaS、SASEをはじめとする、クラウドと自社システムを守るためのさまざまなソリューションを学ぶことで、クラウド、そしてゼロトラストの分野におけるセキュリティを過不足なく実践するために必要な知見を手に入れ、ありがたい姿により近づける手助けをします。

Key word

XDRなどxDR（ディテクション&レスポンス）系全般を追加
SaaS、PaaS、IaaS等
クラウド&セキュリティ関連全般（Office365などと連携する製品も含む）
ネットワークセキュリティソリューション全般
ファイアウォール、IDS、IPS、セキュリティスイッチ、ルーター製品
セキュリティの仮想アプライアンス全般
VPNソリューション
IDaaS (Identity as a Service)
SASE (Secure Access Service Edge)
SDP (Software Defined Perimeter)

SWG (Secure Web Gateway)
SOAR (Security Orchestration, Automation and Response)
UEBA (User and Entity Behavior Analytics)
SIEM
BYOD
マネージドサービス全般
暗号関連全般（鍵管理も含む）
ゼロトラスト・ネットワーク構築系ソリューション全般
シフトレフト系
認証系全般

視聴者の抱える想定課題

いま検討しているゼロトラストシフト、既に完了したクラウドシフトにおける「認識の穴」「システムの穴」に気が付くためのソリューションを本ゾーンで知り、「視聴者が気が付いていないことに気が付ける」ことを目指します。

Section4

エンドポイント対策&情報管理

エンドポイントは企業における最重要防御ポイントです。侵入はサイバー犯罪者たちによる最高技術が使われることも多く、もはや人間が「気を付ける」だけでは対応ができない時代になっています。そしてそれは目的ではなく単なる手段であり、その先には組織が守るべき重要な情報をいかに窃取するかが彼らの本当の目的であることも忘れてはなりません。

本ゾーンではエンドポイントを守ることに加え、その先にある情報をいかに守るかという点に着目したいと思います。そのために役に立つ技術を知ることが今、組織に必要な知見であるはずで

— Key word —

情報漏えい対策全般
資産管理系全般／脆弱性管理系全般 (SBOMなど含む)
マルウェア検知ソリューション全般 (次世代アンチウイルス含む)
XDRなどxDR (ディテクション&レスポンス) 系全般、EDR (Endpoint Detection and Response)
フィッシング対策製品全般
EMM (Enterprise Mobility Management)

IRM (Information Rights Management)
SOAR (Security Orchestration, Automation and Response)
UEBA (User and Entity Behavior Analytics)
SIEM
BYOD
RBI (Remote Browser Isolation)

— 視聴者の抱える想定課題 —

新しいマルウェアを知って防ぎたい、EDRの使い方が分からない、XDRが分からない、情報漏えいを防ぐためマイクロセグメンテーションを学びたい、社内にある資産を把握していない、脆弱性を把握していない、脆弱性が発表されてもなにをしていいのかわからない、脆弱性が発表されても対象となる機器がどこにあるのかわからない、フィッシングから利用者／組織を守る方法が分からない

Section5

ランサムウェア

ランサムウェア攻撃の手法は時代に合わせて変化しており、アカウント情報を窃取して販売するアクセスブローカーやランサムウェアを開発、販売する「RaaS」（Ransomware-as-a-Service）などサイバー犯罪の分業化が進み、よりスピーディーかつ確実に企業にサイバー攻撃を仕掛けるエコシステムが形成されています。さらに近年では、窃取したデータを暗号化せず、よりシンプルに脅迫の材料として利用する動きもみられます。このように攻撃手法が変化する今、企業は単にランサムウェアの侵入を防ぐだけでなく、侵入後の封じ込めからもしかすると身代金交渉まで視野に入れて対策を講じることが求められるでしょう。

本ゾーンでは、ランサムウェアのブロックから初動対応、封じ込め、脅迫への対処など幅広い観点でこの脅威への対策を考えていきます。

— Key word —

EDR製品全般

XDR

SOAR

アンチウイルスソフト製品全般（NGAVなど）

バックアップソリューション

脅威インテリジェンス

認証関連製品（IDaaS、特権ID管理）

CASB

ファイアウォール

SWG（セキュアWebゲートウェイ）

SASEソリューション

SOC

EPP（エンドポイント保護プラットフォーム）製品全般

DLP（情報漏えい対策）製品全般

メールセキュリティ製品全般

— 視聴者の抱える想定課題 —

セキュリティインシデント発生時の対応ノウハウが確立されていない、ランサムウェア攻撃を受けたかどうかを調べる方法がない、ランサムウェアをはじめとしたマルウェアの侵入を防ぎたい、ランサムウェア攻撃に備えるために始めるべきことが分からない、ランサムウェアによって機密情報を窃取された後、どうすればいいかが分からない、ランサムウェアに対処するセキュリティ人材が不足している/いない、フィッシングやEmotetなどに対する従業員のITリテラシーが低い

Producer's Comment

コロナ禍の影響を受けて、早2年半が経過しました。
リモートワークを継続する企業、出勤を交える企業など対応はさまざまですが、
規模を問わず、ビジネスコミュニケーションのデジタル化が大幅に進んだことは間違いありません。

この間もサイバー攻撃は高度化し、
アプリケーション、企業組織、サプライチェーンなどの“弱い部分”が狙われる傾向は一層高まっています。

重要なのは、これに伴いセキュリティ対策も進展し続けていることでしょう。
機密性、完全性、可用性といった基本は不変ですが、
それに最適な方法・手段は、企業を取り巻く状況とともに変わり続けています。

セキュリティ対策は「一度実施したら終わり」ではありません——

ITmedia Security Week 2022冬では、サイバーセキュリティの最新動向を押さえるとともに、いま有効な施策を総ざらい。
その対策にスキや遅れがないか、DX推進に寄与できるのか否か、皆さまの知見をアップデートする4日間です。



Security Week

▶▶ Timetable

	Section1 サイバー危機対応事例に学ぶ 「自分事」として取り組む サイバーセキュリティ対策	Section2 サプライチェーン攻撃だけ じゃない、新たな脅威	Section3 クラウド& ゼロトラスト	Section4 エンドポイント対策 & 情報管理	Section5 ランサムウェア	専用ゾーン
10:00~ 10:40	モーニングセッション 1	モーニングセッション 2	モーニングセッション 3	モーニングセッション 4	モーニングセッション 5	基調講演 6-1
10:50~ 11:20	スポンサーセッション 1-1	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-1	スポンサーセッション 4-1	スポンサーセッション 5-1	スポンサーセッション 6-1
11:30~ 12:00	スポンサーセッション 1-2	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-2	スポンサーセッション 4-2	スポンサーセッション 5-2	スポンサーセッション 6-2
Break						
13:00~ 13:40	基調講演 1-1	基調講演 2-1	基調講演 3-1	基調講演 4-1	基調講演 5-1	基調講演 6-2
13:50~ 14:20	スポンサーセッション 1-3	スポンサーセッション 2-3	スポンサーセッション 3-3	スポンサーセッション 4-3	スポンサーセッション 5-3	スポンサーセッション 6-3
14:30~ 15:00	スポンサーセッション 1-4	スポンサーセッション 2-4	スポンサーセッション 3-4	スポンサーセッション 4-4	スポンサーセッション 5-4	スポンサーセッション 6-4
15:10~ 15:50	基調講演 1-2	基調講演 2-2	基調講演 3-2	基調講演 4-2	基調講演 5-2	基調講演 6-3
16:00~ 16:30	スポンサーセッション 1-5	スポンサーセッション 2-5	スポンサーセッション 3-5	スポンサーセッション 4-5	スポンサーセッション 5-5	スポンサーセッション 6-5
16:40~ 17:10	スポンサーセッション 1-6	スポンサーセッション 2-6	スポンサーセッション 3-6	スポンサーセッション 4-6	スポンサーセッション 5-6	スポンサーセッション 6-6

専用ゾーン1

専用ゾーン2

専用ゾーン3

セッション枠時間：モーニングセッション・基調講演40分、スポンサーセッション30分 ※上記タイムテーブルは変更となる可能性があります。



Sponsored Menu

ご協賛プランは以下の5種類をご用意

3社限定の
特別プラン!

ダイヤモンド

編集部が企画するゲストセッション1枠と、
貴社セッション2枠から構成される貴社専用ゾーンを設置するプランです。
編集部が貴社の訴求したいメッセージをお伺いし、
ゾーン全体の概要やゲストセッション候補者のご提案・講演概要の企画をすることで、
貴社テーマに関心の高い視聴者へ訴求することが可能です。

プラチナ

スポンサーセッション1枠と、イベント全申込者リストをご提供するプランです。
貴社セッションを視聴した関心の高い読者から、
イベント全体の申込者まで幅広いリストを獲得可能です。

ゴールド

スポンサーセッション1枠と、協賛セクション事前申込者リストをご提供するプランです。
協賛セクションのテーマに興味がある参加者へアプローチすることが可能です。

全リスト

イベント全体の事前申込者リストをご提供するプランです。
スポンサーセッションの準備が難しい場合でも、多くのリストを獲得することが可能です。

セクションリスト

セクション単位での事前申込者リストをご提供するプランです。
協賛セクションのテーマに興味がある視聴者のリストを獲得することが可能です。

スポンサーセッション

30分のセッション枠をご活用いただけます。
ITmediaのカメラやマイクなどの機材を使用して手軽にセッションを行っていただけます。
ご来社が難しい場合は動画データをご納品いただき、当日配信することも可能です。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

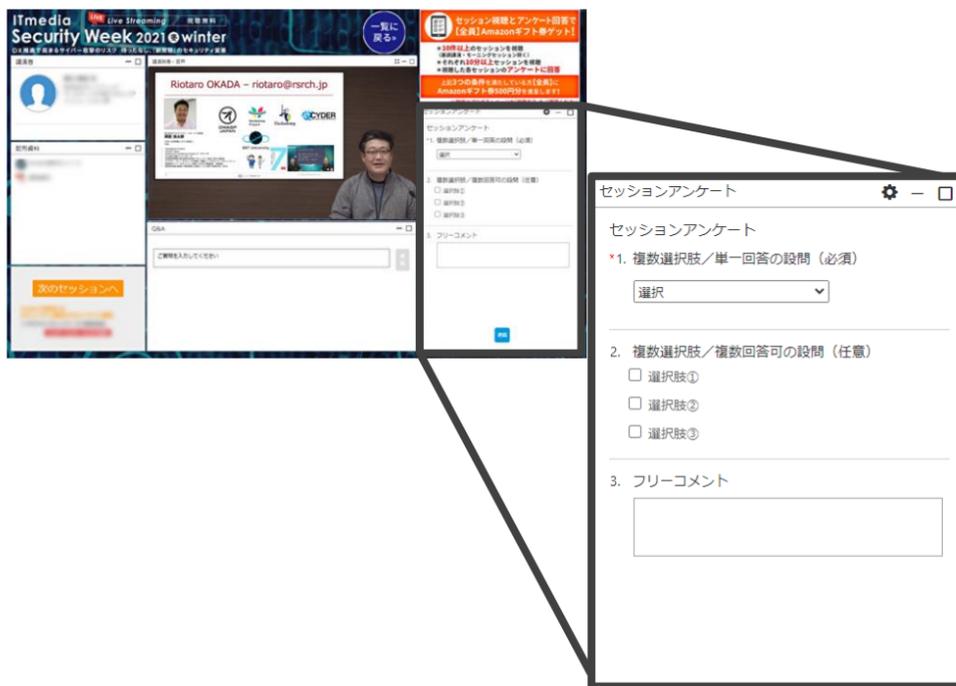
ゲスト+2セッション

全リスト

セクション

セッションアンケート

貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施いただくことが可能です。
回答形式は単一回答、複数回答、自由回答の3種類を組み合わせる自由にご設定いただけます。



ダイヤモンド

プラチナ

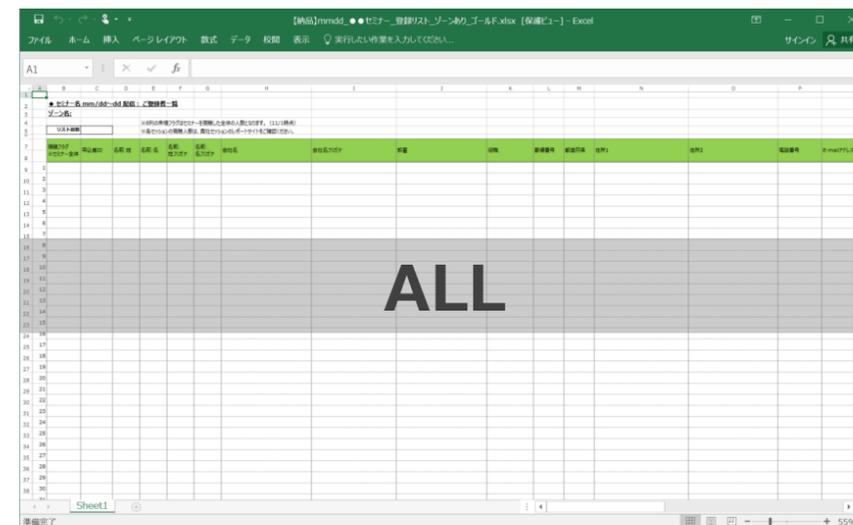
ゴールド

全リスト

セクション

全申込者リスト

全申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。
申込者リストはイベント終了後3~5営業日以内に Report Centerシステム経由でExcelデータ形式にて納品させていただきます。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

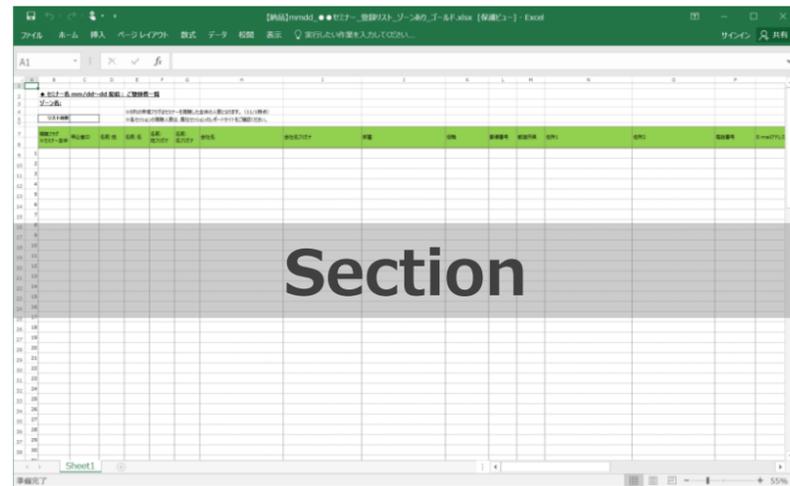
※画像はすべて参考イメージになります。

協賛セクション申込者リスト

協賛セクションの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。

ダイヤモンドプランには納品リストを全申込者リストに変更する追加オプションもご用意しております！

※事前申込時に該当セクションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストがご納品対象です。



ダイヤモンド

約250名想定

プラチナ

ゴールド

約300名想定

全リスト

セクション

約300名想定

自セッションの 視聴者データ・レポートサイト

貴社セッションのレポートサイトをご提供します。
セッション視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報もDL可能です。

▼オンラインレポート掲載項目

- ✓ 視聴者情報
 - 登録項目
 - 氏名
 - 役職
 - 所属社名
 - 従業員規模
 - 業種
 - 職種
- ✓ セッションの視聴人数
- ✓ 視聴人数の推移
- ✓ 平均視聴時間
- ✓ Q&A、資料ダウンロードなどの行動履歴

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

事前アンケート結果



事前登録時に製品選定における立場や抱えている課題等を尋ねており、これらの回答内容をお渡しする申込者リスト内に反映してご提供します。
見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。
(設問はITmedia設定)

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

※画像はすべて参考イメージになります。

スポンサーロゴ掲載



イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲示し、貴社サイトへのリンクを設定いたします。

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

配布資料

貴社セッション内で視聴者に向けて、ご講演資料+3点まで資料の配布が可能です。PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能です。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

開催報告書

ITmediaで一般来場者へ全体アンケートを行っており、その集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供いたします。開催報告書内は個人情報を含まない、集計データでのご提供となります。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

※画像はすべて参考イメージになります。

協賛プラン	ダイヤモンド (限定3社)	プラチナ	ゴールド	全リスト	セクションリスト
スポンサーセッション	● (ゲスト+2セッション) Live配信+アーカイブ	● Live配信+アーカイブ	● Live配信+アーカイブ	—	—
スポンサーアンケート	●	●	●	—	—
全申込者リスト ※想定800名	—	●	—	●	—
協賛セクション申込者リスト	● 想定300名 ※追加オプション有	—	● 想定350名	—	● 想定350名
自セッションの 視聴者データ・レポートサイト	●	●	●	—	—
事前アンケート結果	●	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●	●
資料配布	●	●	●	—	—
開催報告書	●	●	●	●	●
	¥5,000,000-	¥3,200,000-	¥2,200,000-	¥1,500,000-	¥1,000,000-

※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の前申込者データ数に達しない可能性がございます。
 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。
 ※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

(すべて税別・グロス価格)

LIVEセッション 録画データ納品

セッションがあるプランにお申込みいただき、LIVEでご登壇いただいた際に、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データをmp4形式で納品いたします。
※配信時のままの状態となるため、編集はありません。

5万円

全申込者 リスト納品

ダイヤモンドプランの納品リストを、全申込者リストに変更いただけます。貴社の専用ゾーン視聴者だけでなく、イベントに参加登録をした全員のリストで、より多くのリード獲得が可能です。
※想定追加リスト数：300件

100万円

納品リストへの ABMデータ追加

ITmediaのコンテンツ閲覧状況を分析して得た、各企業の導入検討状況を推察できるABMデータを納品リストに追加します。ABMデータで企業_intentを可視化することで、納品リードから効率的な案件発掘が可能です。
※データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品となります。

20万円

詳細は右記URLよりご確認ください <http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-07-13/29y5sng>

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

セットメニュー アフターフォローセミナー

編集部が貴社の訴求メッセージと読者の関心を掛け合わせた企画を設計！

講師のご提案・アサインから集客・配信までITmediaがサポート致します。

編集部や基調講演講師との
パネルディスカッションも可能！
※パネルディスカッション登壇は最大4名まで



集客人数の
追加も可能

ご提供価格

¥2,300,000-

集客保証

60名登録

登壇者アサイン

編集部1名 + 講師1名

セミナー時間

1回 40～60分まで

実施内容

- ・弊社規定テンプレートによる集客ページの制作
- ・ITmediaメルマガによる集客
- ・ITmedia指定スタジオ又はZOOMによる遠隔での事前収録
- ・セミナー当日の配信サポート
- ・MP4ファイル又はホスティングURL納品（ホスティング有効期限1年）

対象媒体

ITmedia エンタープライズ

- ・講師の希望内容によっては追加費用が必要となる場合がございます。
- ・集客保証60名は集客ページの内容が30営業日前にFIXできることが条件となります。
- ・ご希望いただくセミナーテーマによって、集客可能人数が変動する場合がございます。
- ・集客はノンセグメントとなり、ライブ/オンデマンド配信合わせての保証数となります。
- ・収録動画の編集は行いません。
- ・収録動画の二次利用には講師との調整が必要な場合がございますので、別途ご相談ください。

同時申込割引！

¥2,450,000-

ITmedia
メルマガ
登録者

メルマガ会員と獲得リストの対象者を
セミナーに誘導



貴社の
既存リード

詳細は商品資料をご参照ください (<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>)

ダイヤモンド・プラチナ・ゴールドプランスポンサー限定！

セットメニュー **タイアップ記事への行動履歴ターゲティング誘導**

読者の行動データ（記事閲覧履歴）を基に「興味・関心」を特定し、「興味・関心」の高い人を貴社タイアップ記事へ誘導します。
読者の行動データを外部サービスへ連携し拡張配信を行うことで、アイティメディアに訪れたことが無くても、同じ「興味・関心を持つ人」を捕捉することで読者のリーチが広がります。

タイアップ記事を制作



興味関心がある人だけを抽出



ご提供価格

¥1,500,000-

協賛社様限定！
定価
~~¥1,700,000-~~

保証PV

5,000PV

掲載期間

最短1週間～最長2ヶ月
(保証PVを達成次第終了)

仕様

3,000～4,000文字、図版2～3点

実施内容

- ・タイアップ記事 1本制作
- ※本メニューは、ライブ/オンデマンド配信、録画データ等を視聴しながら要点をまとめるものです。別途取材は行いません。
- ・読者行動データを基にタイアップ記事への誘導広告
- ・閲覧レポート (PV,UB,閲覧企業等)

対象媒体

ITmedia エンタープライズ、@IT

※制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します。
※著名人のアサインや、遠方への取材などが必要な場合は、別途料金を頂戴いたします。
※印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は担当営業までお問合わせ下さい。
※お申し込み後、広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、追加費用が発生する場合がございます。

・本サービスは、オーディエンスの拡張配信及び、外部メディアを利用したプランとなります。
・外部メディアの利用先はアイティメディアが内容に応じて、最適な配信先を選択します（指定出来ません）
・誘導原稿はアイティメディアが準備いたします（事前の確認・指定はできません）
・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします。

ダイヤモンド・プラチナ・ゴールドプランスポンサー限定！

セットメニュー セッション動画活用リード獲得

セミナーにご掲載いただく講演動画／講演資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに掲載。
セミナーでご実施いただいたコンテンツを活用して、開催終了後も継続してリード獲得をリーズナブルにご実施いただけるプランです。

セミナー掲載コンテンツ



セミナーに掲載した講演動画



講演資料、製品資料など
新規PDF 1点以上



TechTargetジャパン／キーマンズネットに掲載



ターゲットに向けてメールなどで
貴社コンテンツをオファー

コンテンツ閲覧時に
アンケート回答と個人情報提供の許諾を取得



獲得したリードは管理サイトで
ダウンロードできます（日次更新）



ご提供価格

¥1,000,000-

保証属性

ユーザー企業限定

保証件数

100件ご提供保証

実施詳細

- ・ セミナー終了後、任意のタイミングでキャンペーンを開始していただけます
- ・ 本キャンペーンのお申込みをいただいてから最短11営業日でキャンペーン実施が可能です
- ・ リード獲得期間は約2か月間を想定しております
- ・ キャンペーンの進捗が著しく悪い場合、コンテンツの追加をご相談することがございます

対象媒体

TechTargetジャパン／キーマンズネット

※ユーザー企業詳細※

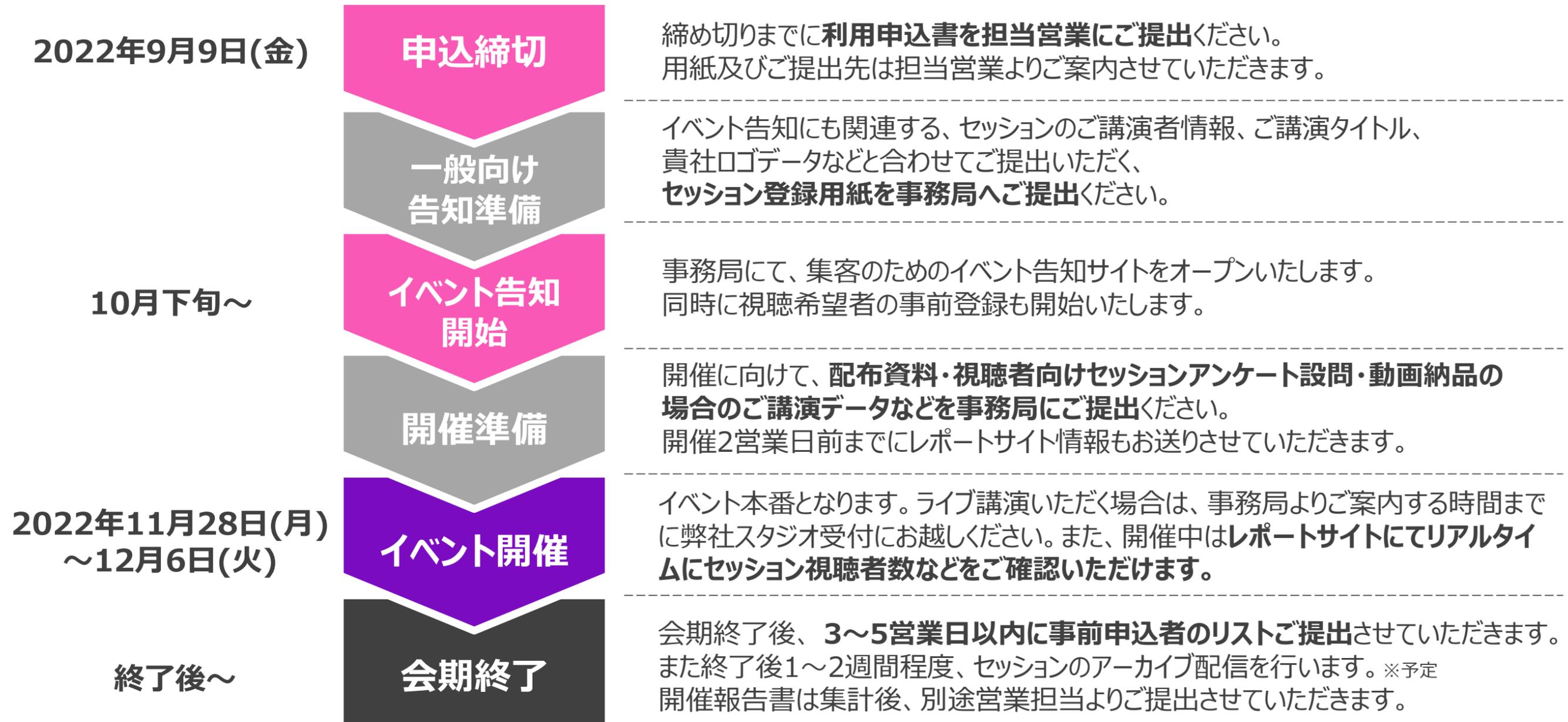
会員登録時に下記の「業種」を選択している会員を納品いたします
製造業（IT関連以外）／流通／サービス業／金融業・保険業／教育・学習支援業／医療・福祉／政府・官公庁・団体／その他の業種（通信関連業種は除外）

協賛社様限定！

定価

¥1,175,000-

お申し込みからの流れ



※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。



Appendix

セッションの視聴画面イメージ

ご講演者情報

貴社名と合わせまして、ご講演者様の氏名、肩書、お写真を掲出させていただきます。

配布資料

貴社セッション視聴者様に向けての配布資料を設置可能です。最大3点まで設置できますので、ご希望の資料を支給ください。

Q&Aフォーム

ご希望の場合は視聴者からの質問を受け付けるQ&Aフォームをご利用いただけます。



ご講演映像

ご講演の映像を放映します。ライブ配信で投影資料がある場合は、事前に事務局に送付いただければ、ご講演者様と組み合わせた画面構成に調整いたします。

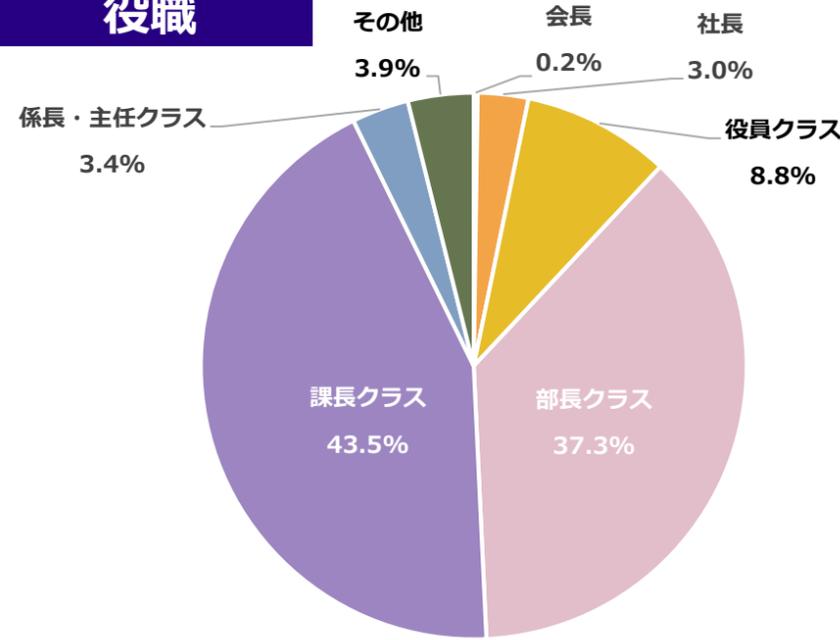
セッションアンケート

貴社セッションの視聴者様に向けてアンケートを行っていただくことも可能です。最大9問まで設定可能ですので、ご希望の場合は設問内容をご連絡ください。

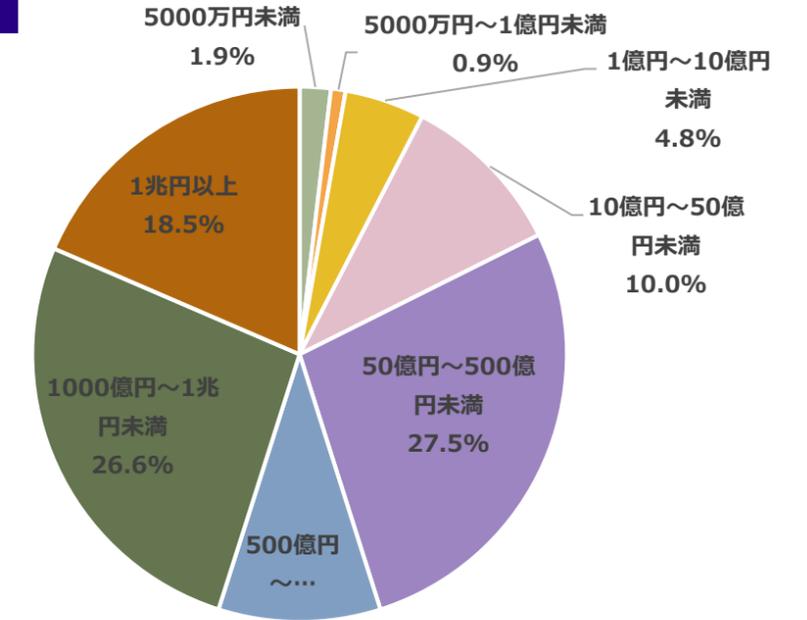
Security Week



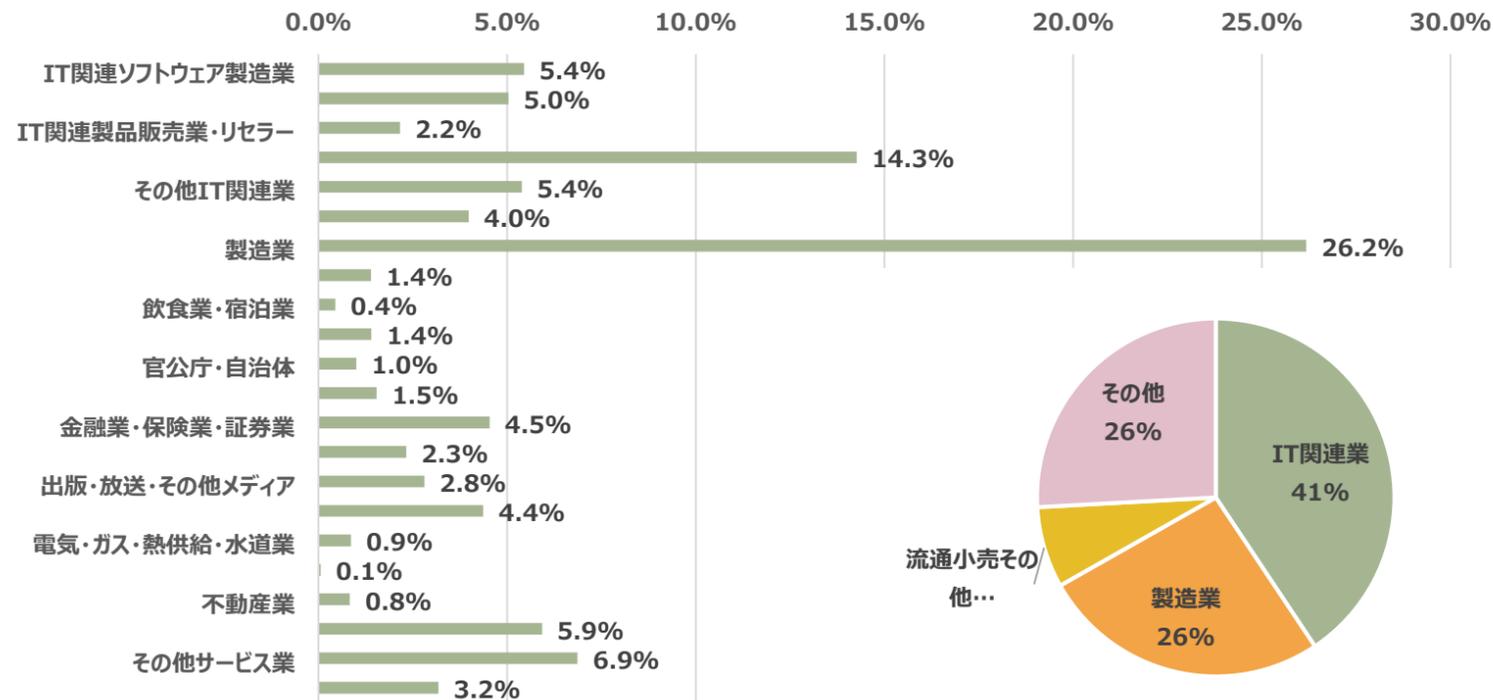
役職



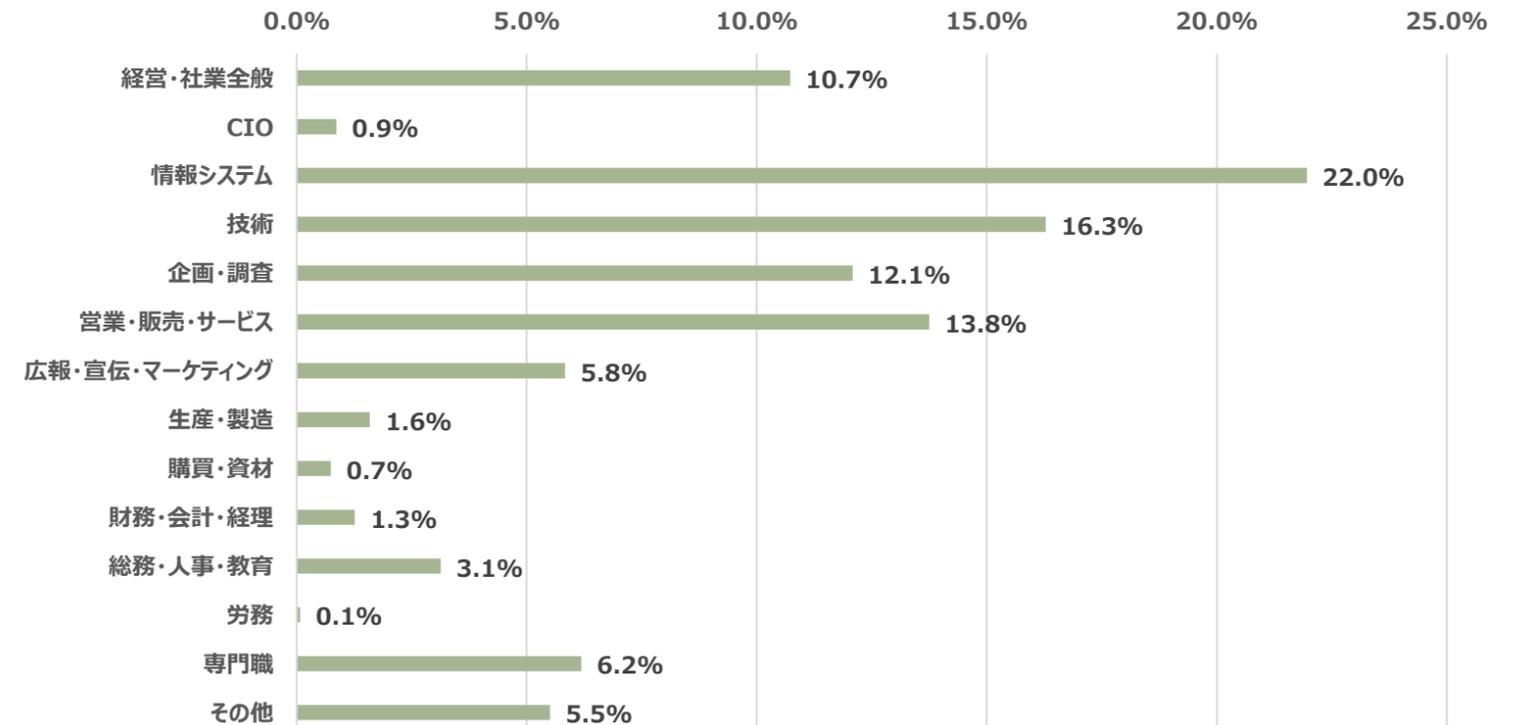
年商規模



業種



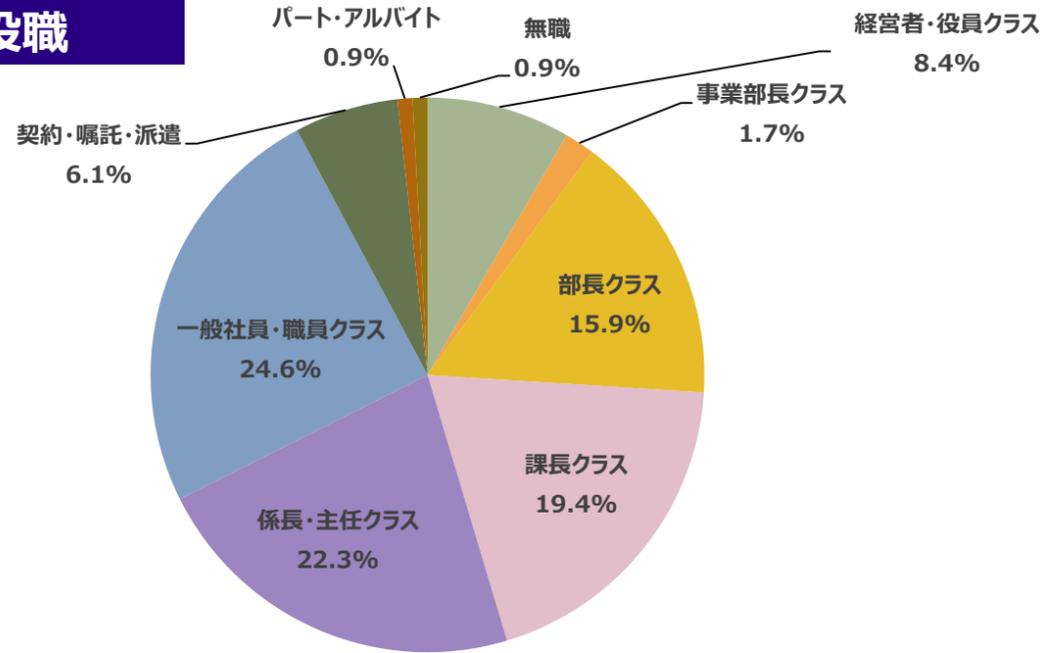
職種



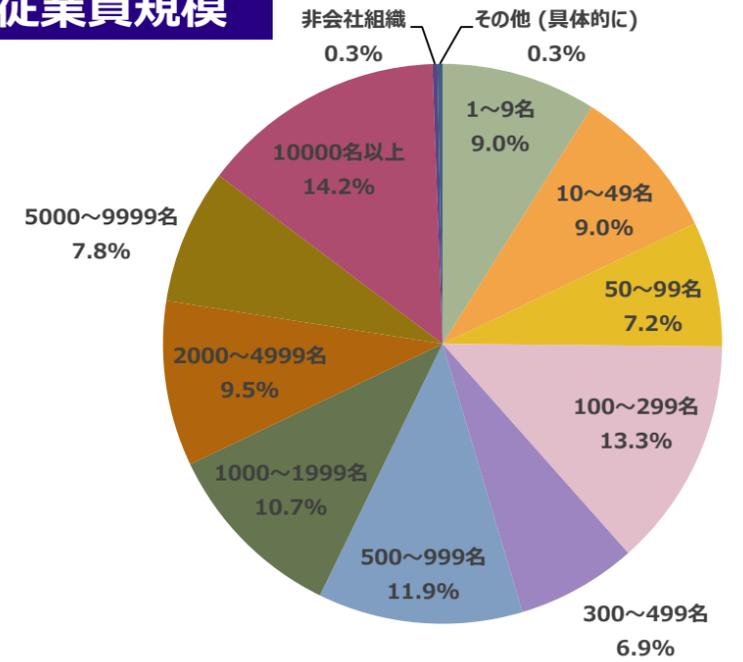
Security Week



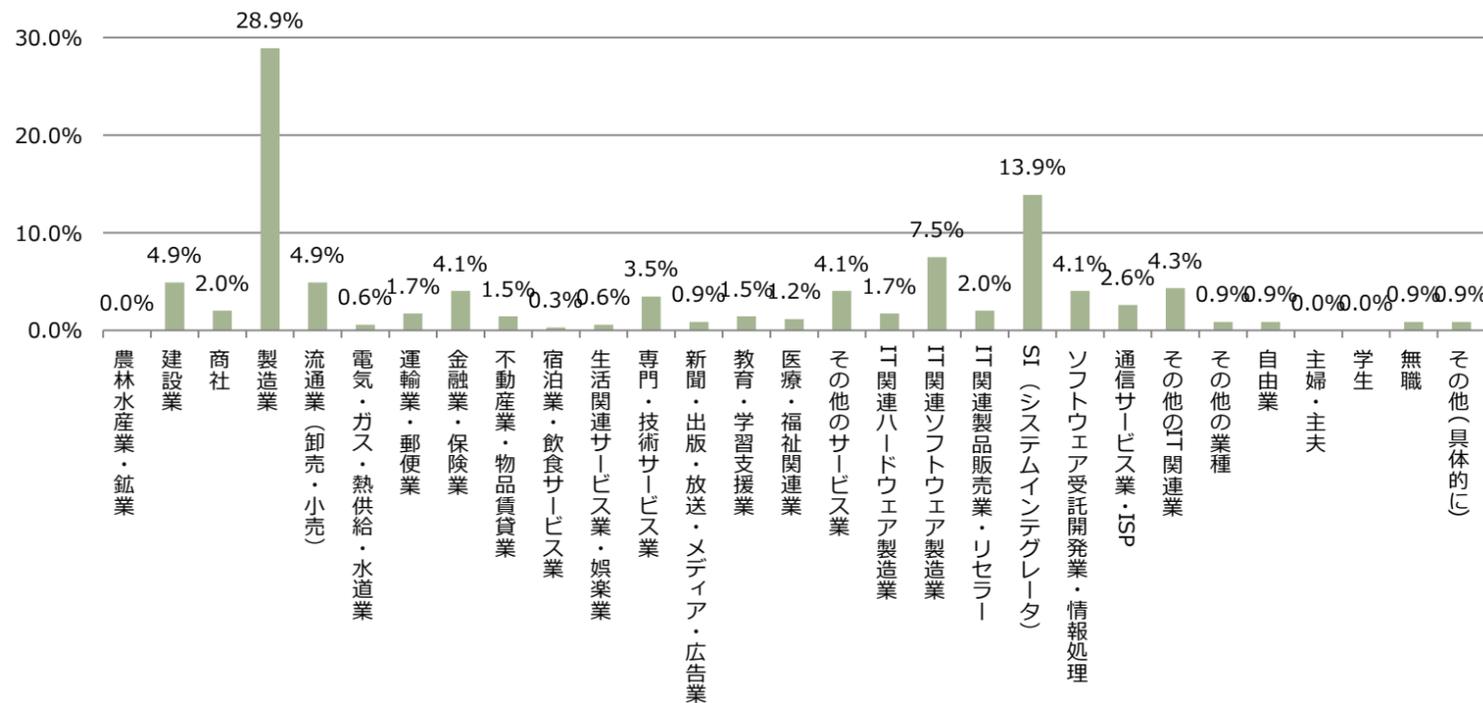
役職



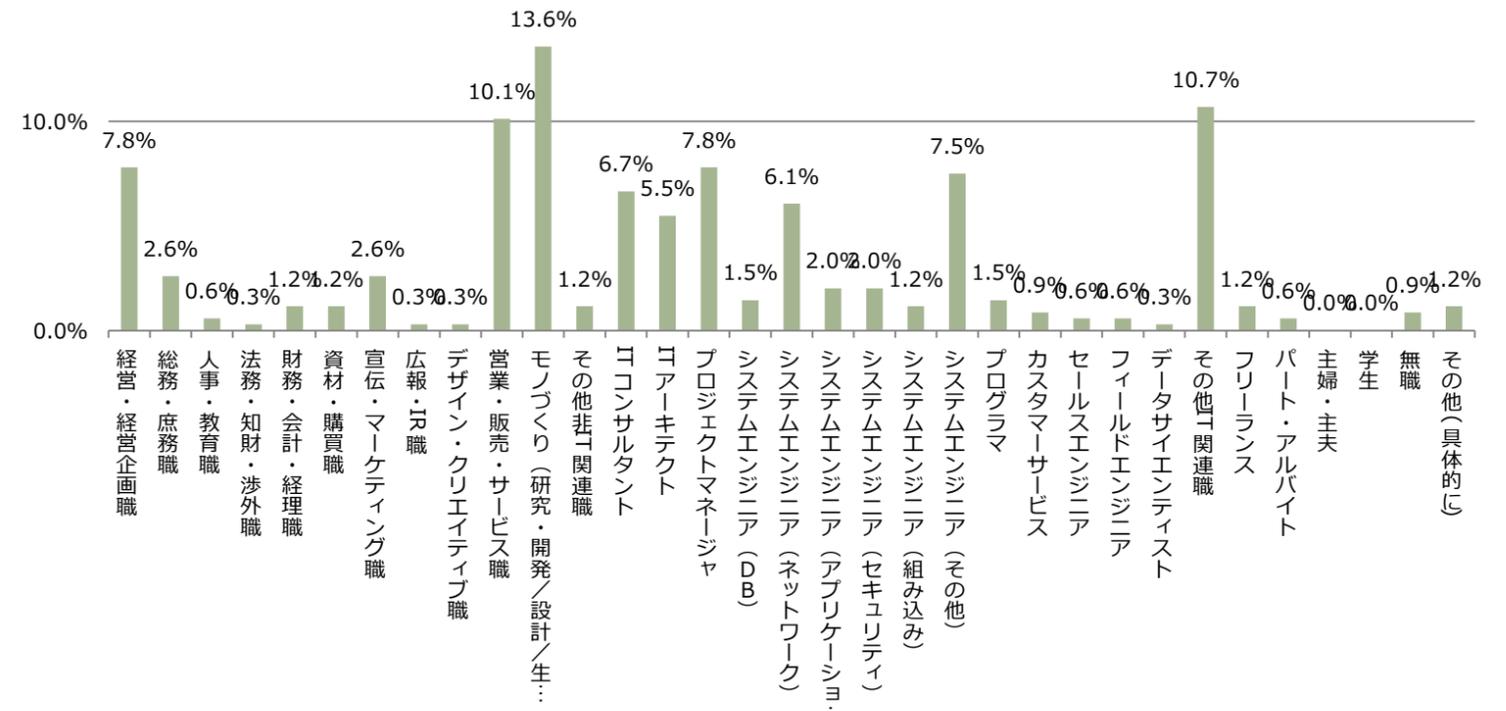
従業員規模



業種



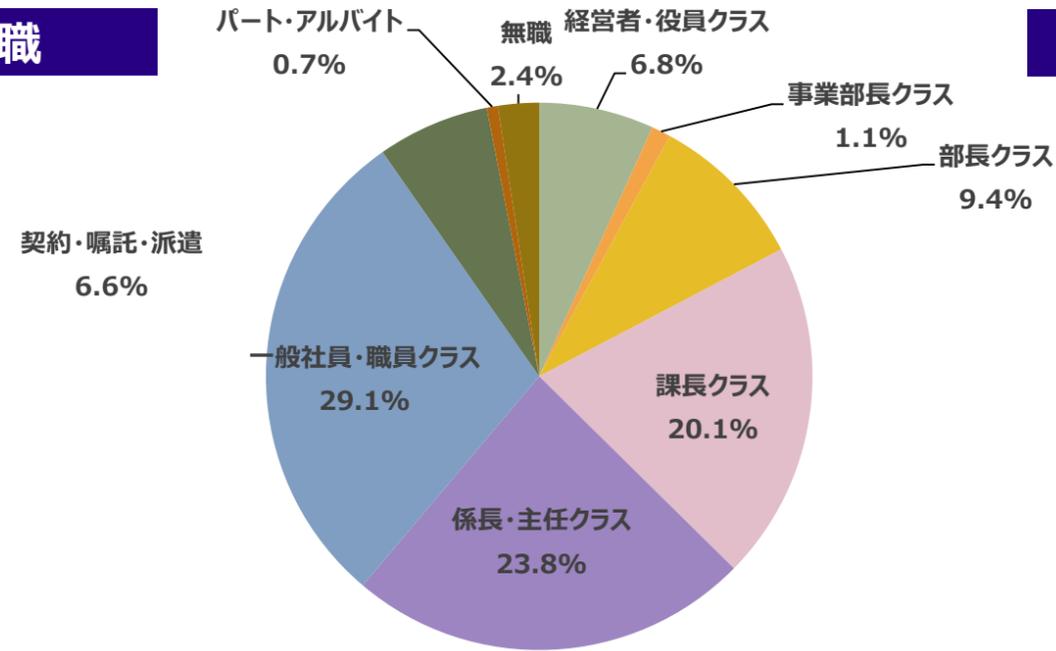
職種



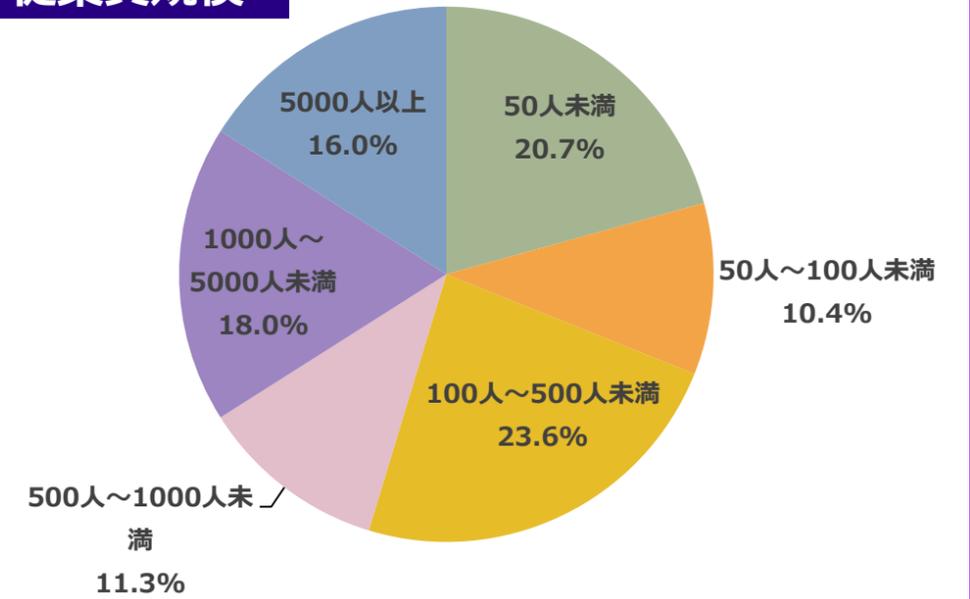
Security Week



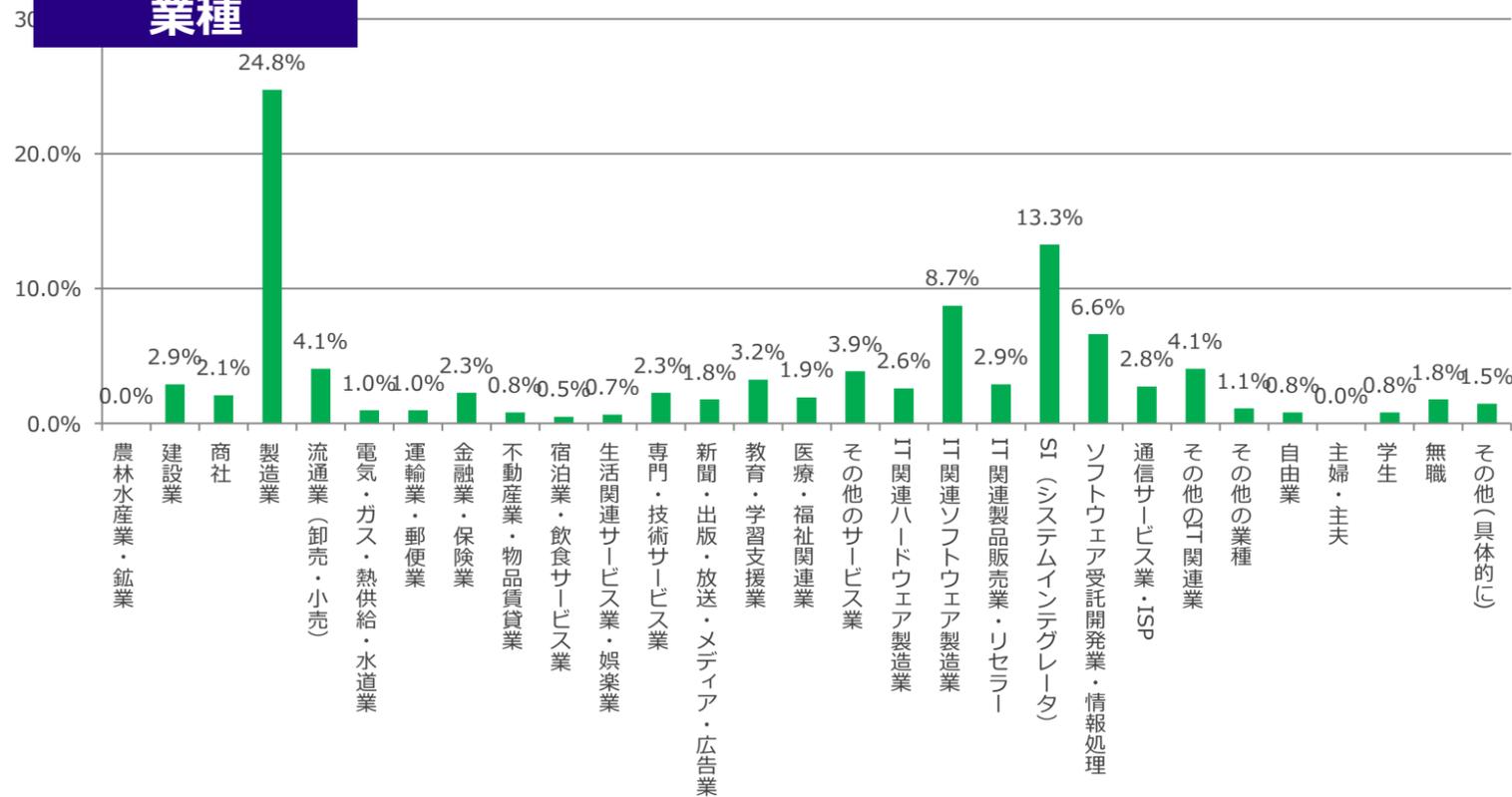
役職



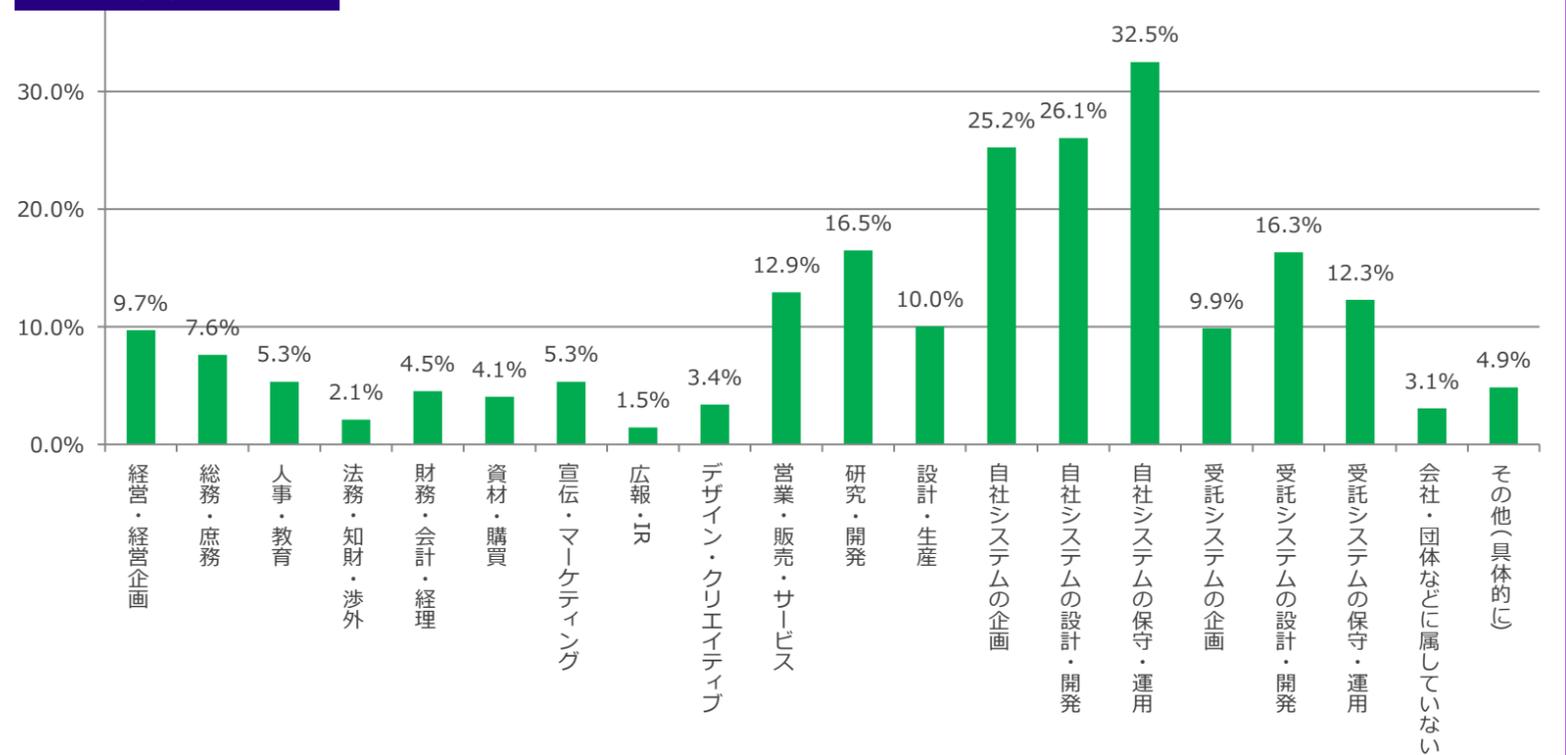
従業員規模



業種



職種



ご留意事項

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

- リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害**
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。
- リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害**
配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、
万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。
- リスク3：電源障害**
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。
- リスク4：機材障害**
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。
- リスク5：視聴側における障害**
総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いため、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報取り扱いについて

弊社メディア主催セミナーにおける参加者等の個人情報または個人情報を含むデータ(以下「本個人データ」という)のお取り扱いに関し、以下の点をご確認下さい。

1. (本個人データについて)

本個人データは情報主体の同意の下で弊社が協賛企業へ提供するものです。弊社は、本個人データの収集に際しては、日本国内の法令、条例、ガイドライン等を遵守していることを保証いたしますが、本個人データの正確性、完全性、有用性については一切保証いたしておりません。

2. (データ授受)

提供する本個人データは、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

3. (利用目的の制限)

本個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスに関する参加者等の情報主体への情報提供（以下「本利用目的」という）に限定してご利用下さい。
本利用目的以外で本個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

4. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

本個人データの利用に際しては、適用される法令、条例、ガイドライン等の遵守をお願いいたします。また、本個人データを元に情報主体へアクセスする際は、必ず「貴社内の連絡先」「本個人データ収集元となったイベント名」および「本個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

5. (管理責任者)

本個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

6. (安全保管)

本データの漏えい、滅失またはき損の防止その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を合理的な範囲で講じてください。

7. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に弊社及び情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。
また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

